※令和４年度以降入学生用

学校番号	1009

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ（光村図書）						
副教材等	ペン習字の基礎（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小学校、中学校の授業で学んだ書写と、高等学校で学ぶ芸術としての書道との違いを理解しましょう。
漢字作品は楷書、行書を中心に、仮名作品は連綿を主に、様々な作品を臨書する中で、筆使いや書法を学び、創作作品へと発展させていきます。
多くの作品を鑑賞し、書への関心を深め、書を愛する心を育みます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育むことをめざす。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の幅広い活動に取組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写から書道へ	・国語科書写と芸術科書道の違いについて ・姿勢、執筆法について ・用具、用材、運筆法による表現法の比較 ・書体の変遷	a:正しい姿勢、執筆法が身についている。 書体の変遷を理解している。 b:書写の基礎、基本を踏まえ表現を工夫している。 c:書写と書道の類似点、相違点、書体の変遷に興味を持ち、意欲的に取組もうとしている。	ワークシート 提出作品	ポートフォリオ 提出作品	観察 振り返りシート
	漢字の書(楷書)	楷書の成立と唐の四大家 ・虞世南　孔子廟堂碑 ・欧陽詢　九成宮醴泉銘 ・褚遂良　雁塔聖教序 ・顔真卿　顔氏家廟碑 ・牛橛造像記 ・鄭道昭　鄭儀下碑 ○古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ○古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)。 (1学期課題として硬筆「ペン習字の基礎」を扱う)	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。(知) 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。(鑑・知) 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身につけている。(技) b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取組もうとしている。 書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取組もうとしている。(鑑)	ワークシート 提出作品	ポートフォリオ 提出作品 鑑賞プリント	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	漢字の書（行書）	行書の成立と中国と日本の書 ・王羲之　蘭亭序 ・顔真卿　争坐位文稿 ・空海　風信帖 〇古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 〇古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)。	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身につけている。（技） b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取組もうとしている。 書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取組もうとしている。（鑑）	ワークシート 提出作品	ポートフォリオ 提出作品 鑑賞プリント	観察 振り返りシート
	篆刻	落款と篆刻 ・書作品に於ける落款と落款印の役割 ・篆書について ・泰山刻石 ・落款印の種類 ・制作の手順 ・刻印 （2学期課題として硬筆「ペン習字の基礎」を扱う）	a:書作品を鑑賞し、落款の入れ方を理解できている。 作品における落款の役割と効果を理解できている。 落款における印の使い方を理解できている。 b:篆刻の制作を理解し、落款印を彫ることができた。 c:主体的に篆書の表現の学習活動に取組もうとしている。 主体的に印の制作活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	制作プリント ポートフォリオ 提出作品	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	仮名の書	・仮名の成立 ・仮名の用具用材 ・仮名の筆使い ・平仮名の単体 ・ひらがなの字母（小テスト） ・連綿 ・変体仮名（小テスト） ・伝藤原行成「蓬莱切」 ・伝紀貫之「高野切第三種」 ・古筆を活かした創作 〇臨書を通じて、古典（平仮名・変体仮名・片仮名）の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 〇古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する（創作）。	a：古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身につけている。（技） b：古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取組もうとしている。 書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取組もうとしている。（鑑）	ワークシート 小テスト 提出作品	ポートフォリオ 提出作品 鑑賞プリント	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮交じり書	・漢字仮名交じりの書とは ・創作　好きな言葉を書こう ・創作　表現の幅を広げよう ・漢字仮名交じり書の鑑賞 ・生活の中の書 〇用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〇意図に基づき、漢字（楷書・行書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する（創作）。 （3学期課題として硬筆「ペン習字の基礎」を扱う）	a：用筆・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技術を身につけている。（技） b：漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取組もうとしている。 書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取組もうとしている。（鑑）	ワークシート 提出作品	創作プリント ポートフォリオ 提出作品	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度